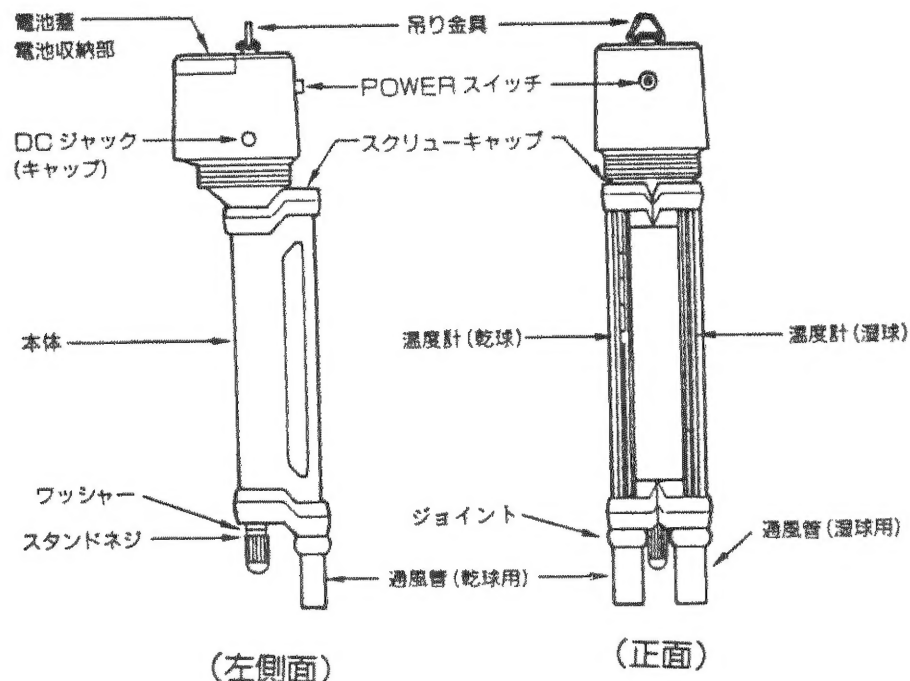


〔アスマン通風乾湿球湿度計 取扱説明書〕

MODEL SK-RHG-S (気象庁検定付) NO. 7450-10
NO. 7450-15

この度は当商品をお買い求めいただきありがとうございます。正しくご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用下さい。
尚、従来タイプの取扱説明書の内容とも重複しており、その頁数をP①で表示してありますのでご参照下さい。

■ 各部の名称



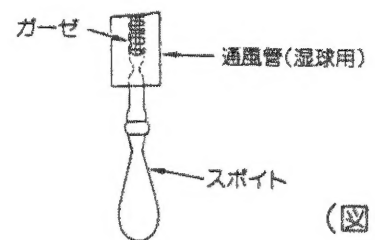
① 給水の方法 (図1)

付属品の給水用スポイトを湿球用通風管に下から巻き込み、ガーゼ部分にスポイトの口を入れ給水する。

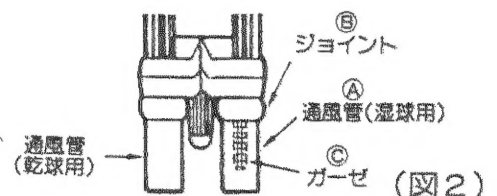
② ガーゼ、温度計の交換 (P⑥、⑦をご参照下さい)

③ 給水タイプへの交換 (図2)

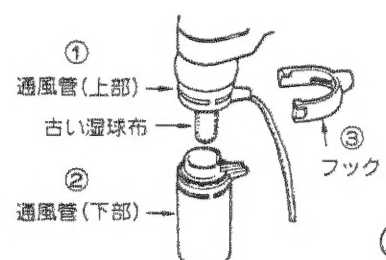
- (1) 本体正面右側の湿球用通風管Aを左回してジョイントBよりはずす。
- (2) その温度計に装着されているガーゼCを取り除き、きれいに清掃する。
- (3) 給水タイプの部品、湿球用通風管(上部)①をジョイントBにねじ込む。
- (4) 湿球布を温度計感温部に取り付ける。更に湿球用通風管(下部)②を①にはめ込み、更にフック③を取り付ける。(P⑤参照) (図3)



(図1)



(図2)



(図3)

-
- ガイド凸部
- ボットホルダー
- スプリングワッシャー
- スタンドネジ

A diagram showing a water supply system. A vertical pipe with a valve is connected to a horizontal pipe. A small container labeled '給水ポット' (Water Supply Pot) is connected to the horizontal pipe via a 'フック' (Hook) and a '導水ひも' (Water Guide String). A larger container labeled '給水ボトル' (Water Supply Bottle) is also connected to the horizontal pipe via a 'フック' and a '導水ひも'.

〒101 東京都千代田区神田西福田町3 ☎ 03-3254-8111(代) FAX 03-3254-8119

アスマン式乾湿計

(気象庁検定付)

SK-RHG-S

【付属品収納場所】

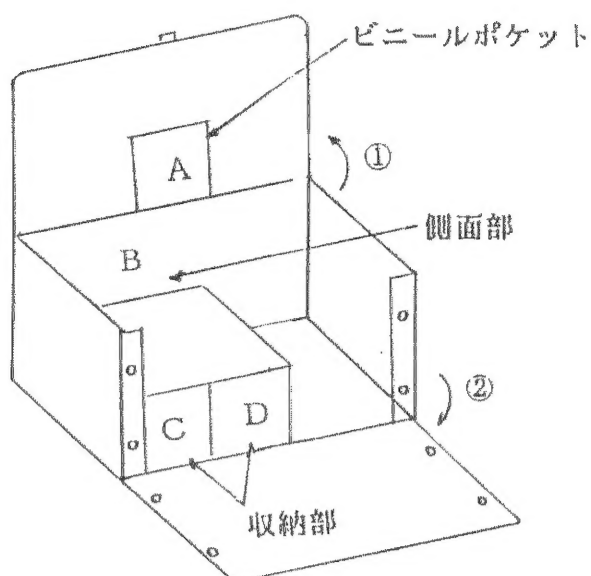
下図ハードケースの①、②をオープンしますとA～Dの4ヶ所にそれぞれ付属品が収納してありますのでご確認ください。

A--湿度計算尺、湿球布

B--取説、ダストカバー

C--ACアダプター、単1乾電池

D--湿球用通風管1set、スポイト、
ポットホルダー、ポット
給水ボトル



(キャリングケース正面開き図)

SK 株式会社 佐藤計量器製作所

〒101 東京都千代田区神田西涌田1-3 ☎ 03-3254-8111(代) FAX 03-3254-8119

アスマン式乾湿計

(気象庁検定付)

SK-RHG-S

【付属品収納場所】

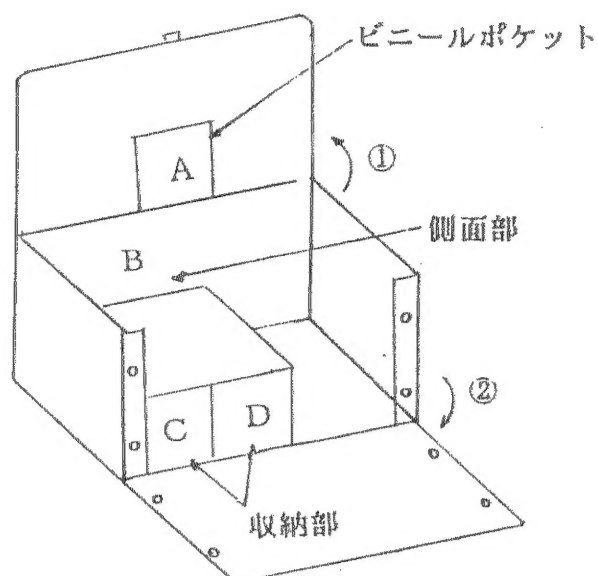
下図ハードケースの①、②をオープンしますとA～Dの4ヶ所にそれぞれ付属品が収納してありますのでご確認ください。

A--湿度計算尺、湿球布

B--取説、ダストカバー

C--ACアダプター、単1乾電池

D--湿球用通風管1set、スポイト、
ポットホルダー、ポット
給水ボトル



(キャリングケース正面開き図)

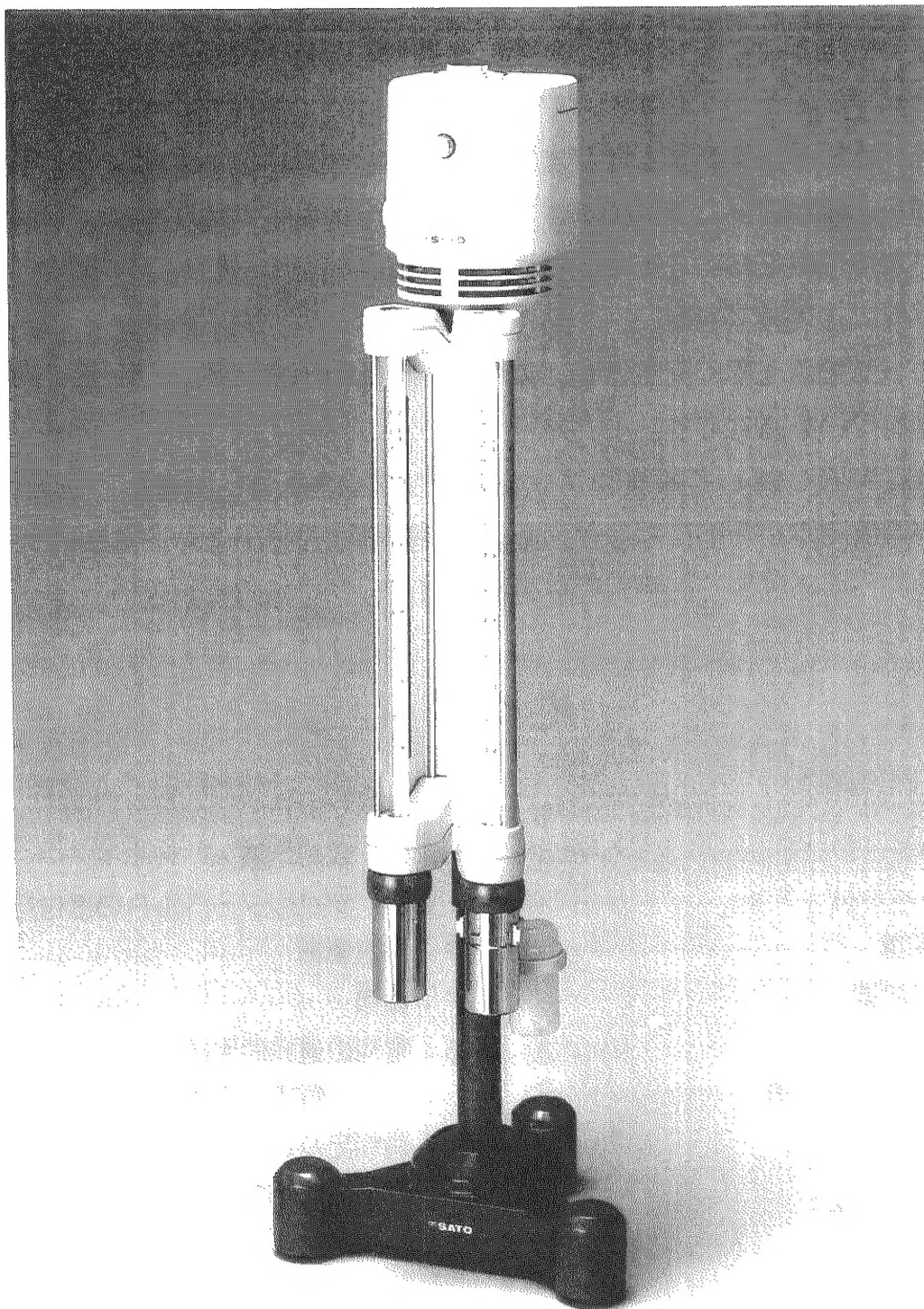
SK 株式会社 佐藤計量器製作所

〒101 東京都千代田区神田西涌田1-3 ☎ 03-3254-8111(代) FAX 03-3254-8119

アスマン式通風乾湿計

取扱説明書

MODEL SK-RHG



●スタンドはオプションです。

SK SATO KEIRYOKI MFG. CO., LTD.

◎このたびは「アスマン式通風乾湿計」SK-RHGをお買いあげいただきありがとうございました。正しくご使用していただくために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用下さい。

1：概要

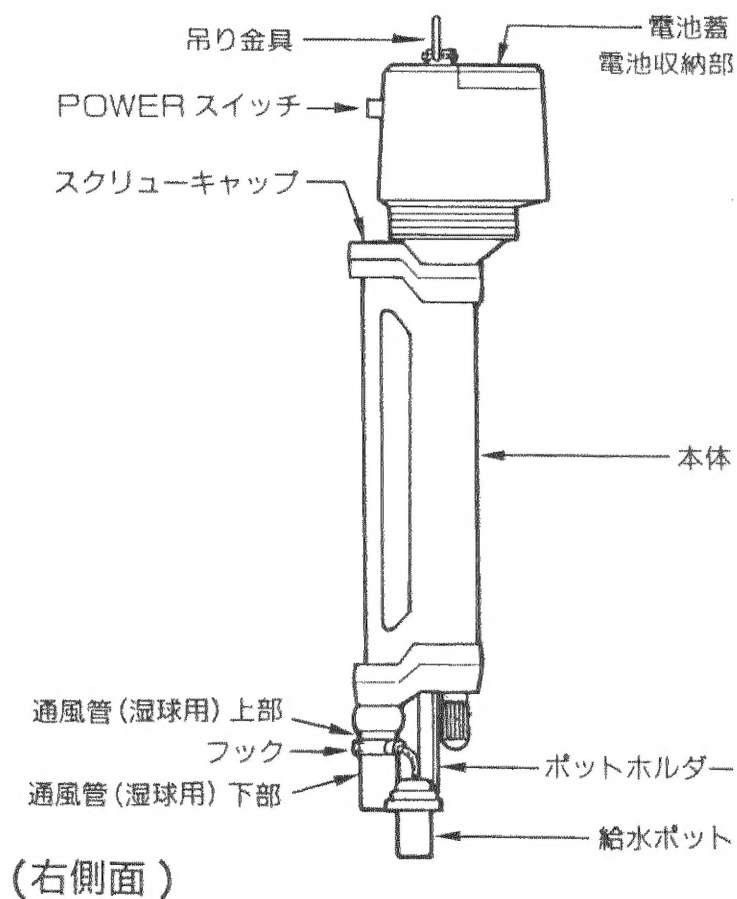
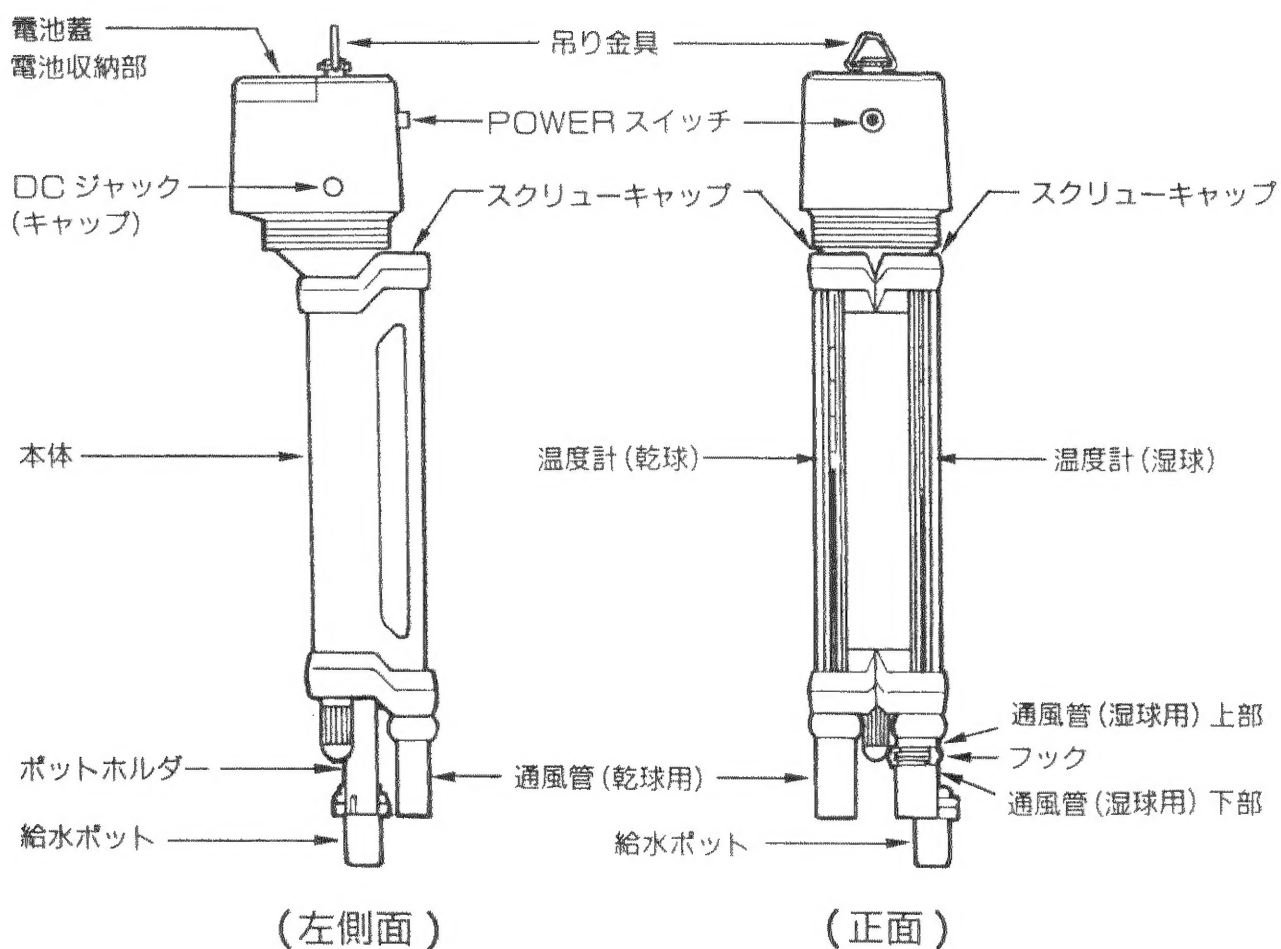
この「アスマン式通風乾湿計」SK-RHGは、最も安定した相対湿度の測定法と言われる乾湿球方式を採用しています。本器に装着してある2本の温度計のうち、水銀球部に湿球布が付けてある方を湿球と呼び、測定時には水で湿して使用します。もう一方の何も付けない水銀球部を乾球と呼びます。湿球の水分が蒸発する時に熱をうばい湿球の温度が下がり、乾球温度と差が出来ます。この温度差を基に湿度表（スプリングの公式に基づく）から湿度を知ることが出来ます。本体頭部に内蔵したモーターによる強制通風装置で下部の通風管（通風口）から水銀球部を通り風を吸いあげます。球部に通風することによって指示を早く安定させ、より早く正確に測定できるため湿度標準器として長年使用されている方式です。

とくに本器は従来器に対して操作性、メンテナンス等を大幅に改良し、誰にでも手軽に正確な相対湿度測定が可能になりました。気象観測ばかりでなく、高精度の湿度管理を要求されるあらゆる場所での相対湿度の標準器としてご活用ください。

もくじ

	ページ		ページ
1：概要	①	5：本体セット	⑦
2：各部名称	②	（1）収納方法	⑦
3：使用方法	③	（2）ショルダーベルトの取付方法	⑦
（1）点検確認	③	6：注意事項	⑧
（2）本体の設置	③	7：仕様	⑧
（3）操作手順	③	8：電池の連続使用時	
測定上の注意事項	④	電圧・風速の変化	⑨
4：保守	⑤	9：消耗品及びオプション	⑨
（1）湿球布の交換	⑤	10：湿度の求め方	⑩
（2）湿球布の代用品として市販品の		（1）計算尺での方法	⑩
ガーゼを使用する場合	⑥	（2）換算表での方法	⑩
（3）温度計の交換	⑦	11：湿度表	⑩
		12：保証規定・品質保証書	⑪

2：各部の名称



3：使用方法

(1) 点検確認

〈ご使用になる前の確認〉

開梱時の手順

- ① 1 ケ箱から格納箱を取り出し、ふたを開けてください。
- ② 本体などの外観上に損傷がないかをチェックしてください。
- ③ 取扱説明書を見て付属品を確認してください。

取扱説明書を見て操作手順を理解してから行ってください。

※ 損傷、不足などがありましたら、販売店または弊社サービスネットワークへご連絡ください。

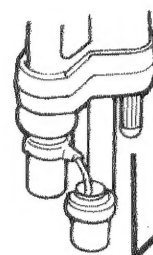
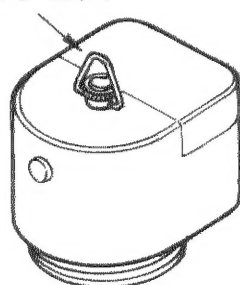
(2) 本体の設置

③ 本体の設置

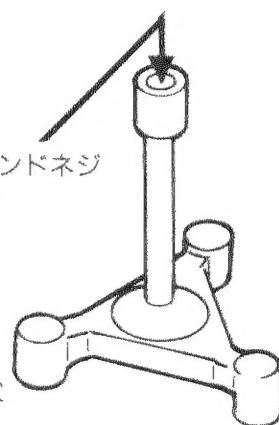
オプションのスタンドを使用して測定場所に設置します。又は、本体頭部の吊り金具を利用して、吊り下げすることもできます。

注意：手で持って測定することは避けてください。正しい測定値を得ることができません。吊り下げ用にアスマン用三脚（オプション）もあります。

吊り金具



スタンドネジ

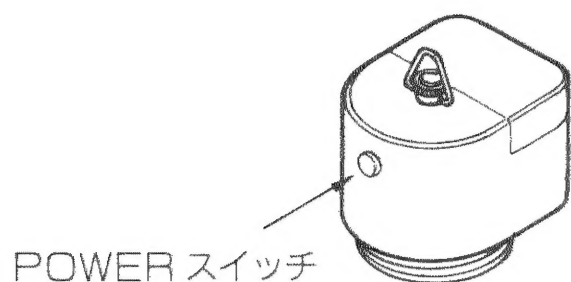


オプションのスタンド

(3) 操作手順

① 操作開始

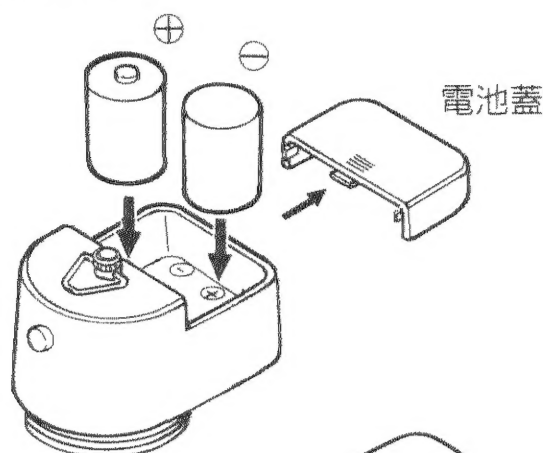
本体頭部の POWER スイッチを黒色 (OFF) にしてください。(黒色は OFF、オレンジ色は ON です。)



POWER スイッチ

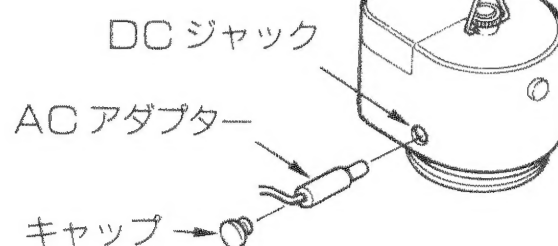
② 電池の入れ方

本体頭部の電池蓋を外し、電池収納部に単 1 電池 (UM-1) 2 本を ⊕ ⊖ 表示にしたがい装着します。



電池蓋

なお本器は外部電源でもご利用になれます。付属の AC アダプターを頭部左側面の DC ジャックに接続してお使いください。



DC ジャック

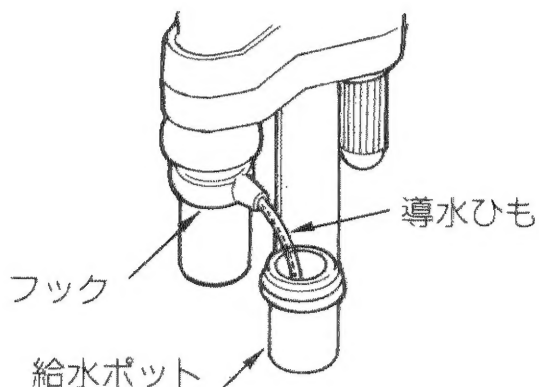
AC アダプター

キャップ

③ 導水ひものセット

フックから出ている導水ひもを給水ポットに入れてください。

注意：手の汚れや脂分、塩分、酸などが導水ひもに付着しないようピンセットを使用するか手を石鹸で洗ってから取り扱ってください。

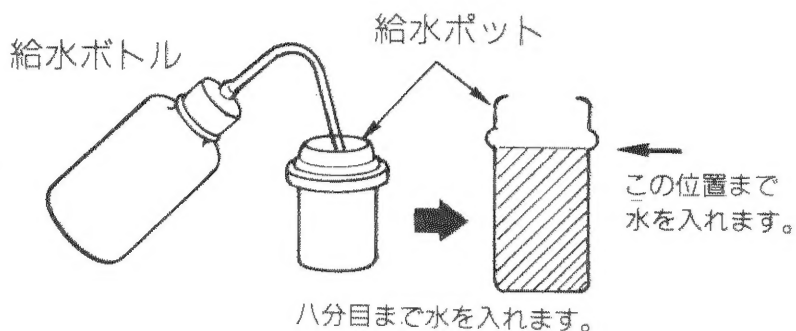


④ 水の入れ方

付属の給水ボトルで給水ポットに八分目まで水を入れます。(下図参照)

注意 1. 湿球布や球部の汚れは正しい測定の妨げとなります。給水はなるべく蒸留水をご使用ください。

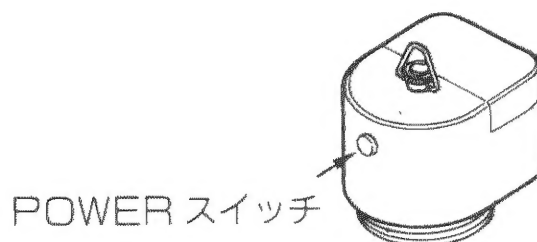
2. 通風管の内壁を濡らさないでください。水が管の内側に付着すると、湿球温度が不安定となり湿度誤差の原因となります。



⑤ 測定開始

本体頭部の POWER スイッチを押してオレンジ色 (ON) にしてください。通風ファンが回転を始めます。

注意：約 5 分以上経過してから測定を始めてください。



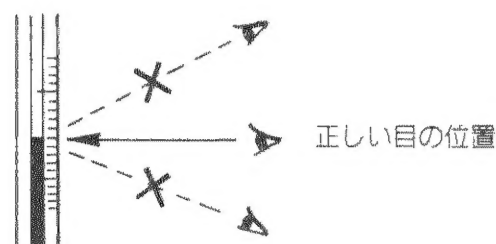
押してオレンジ色 [ON] にします。

⑥ 測定終了

測定後は POWER スイッチを黒色 (OFF) にしてください。

【測定上のご注意】

- 温度計の水銀糸頭と目の位置を水平 (同じ高さ) にして温度を読取ります。
- 顔を温度計にあまり近づけると、呼吸や体温で温められた空気が吸い込まれ温度が狂う恐れがあります。近づきすぎないように注意し、速やかに両方の温度を読取ってください。
- 温度の読取りは、まず、温度計の10の位を読み、次に小さな位を読むと間違いが少なくなります。
- 高温低湿時には湿球が乾きやすくなります。水の補給に注意してください。



4：保守（1） 湿球布の交換

■ 湿球の保守

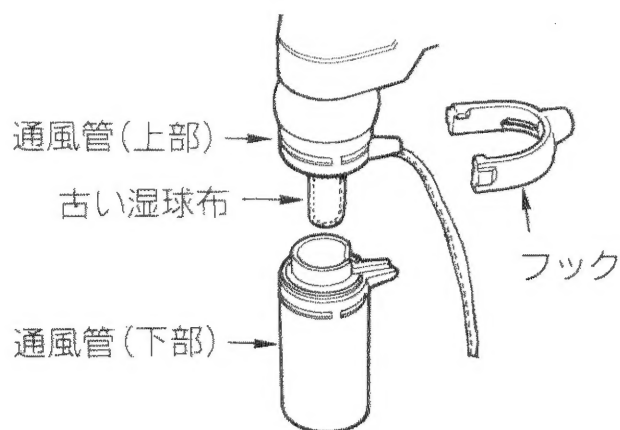
使用前に必ず球部湿球布にゴミ等付着していないか確認してください。異常があった場合は湿球布を交換してください。（7日に1回位は湿球布と水を交換し、給水ポットも清掃してください。）

注意：湿球布の交換は、手を石鹼で洗ってから行ってください。手の汚れや脂分・塩分等の付着は誤差の原因になります。

■ 湿球布の交換

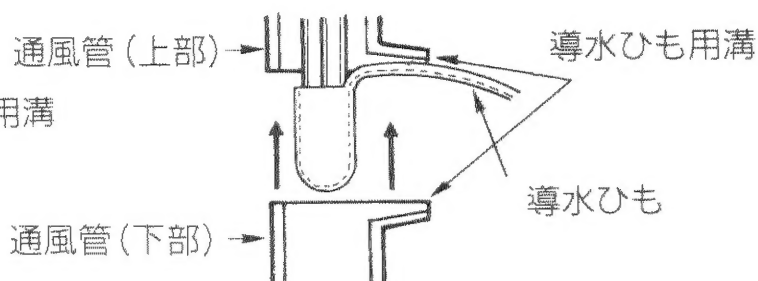
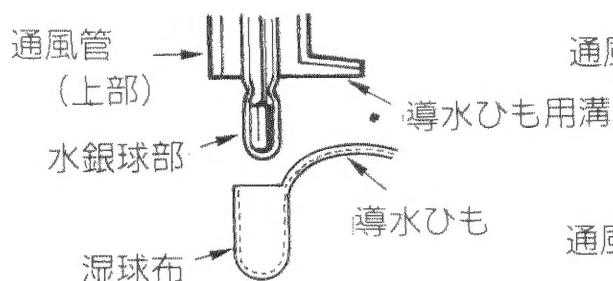
① フックを外し通風管（下部）を取外します。

② 古い湿球布を取外し、水銀球部の汚れをふき取ってください。



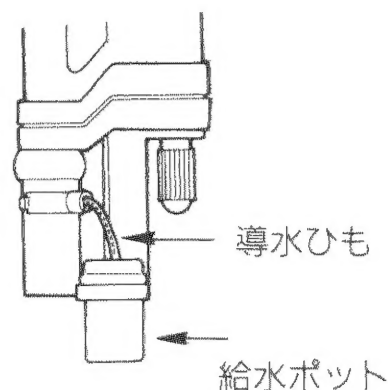
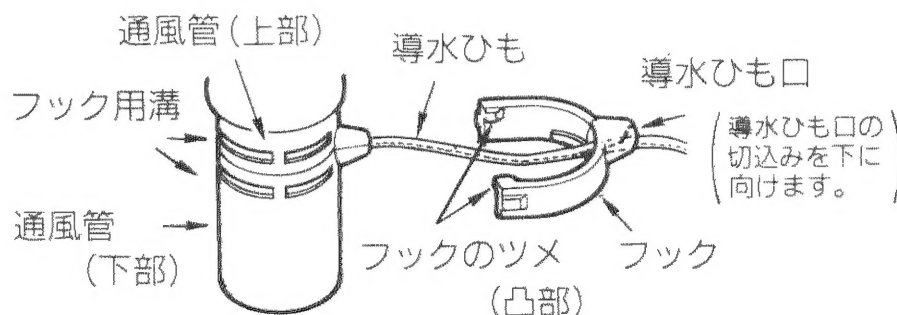
③ 付属の湿球布の口をピンセット等で少し広げて、水銀球部に湿球布を取付けます。

④ 導水ひもを導水ひも用溝に通し通風管（上部）、（下部）の導水ひも用溝を合わせます。その時導水ひもを、縁で挟まないように注意してください。



⑤ 通風管（上部）、（下部）を合わせた状態でフックを取付けます。導水ひもを導水ひも口に通します。フックのツメ（凸部）を通風管（上下部）のフック用溝にあわせて取付けてください。この時導水ひもを挟まないように注意してください。

⑥ 導水ひもを給水ポットに入れます。（ピンセット等で挟んで入れてください。）



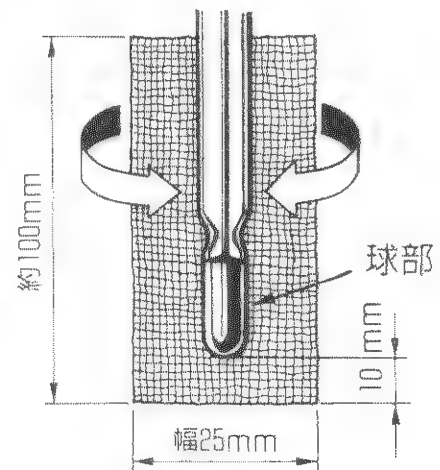
(2) 湿球布の代用品として市販品のガーゼを使用する場合

■ 湿球布の代用品として市販品のガーゼを使用する場合

① 前記⑤ページの「■湿球布の交換」の①②の要領で古い湿球布を取外してください。

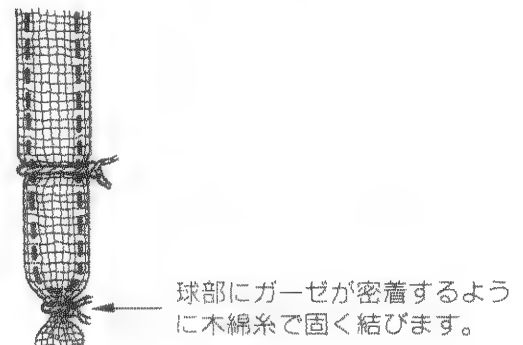
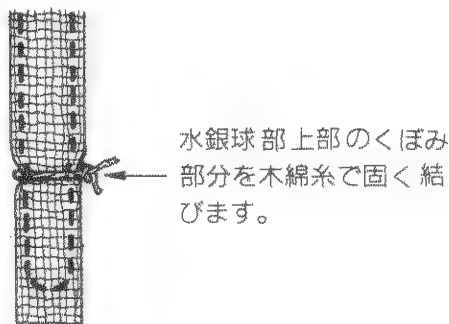
② 市販品のガーゼと木綿糸を用意します。
(化繊糸は避けてください。)
ガーゼと木綿糸を石鹼水で煮沸した後、きれいな水で良く洗い、のりや脂分を除きます。

③ ガーゼを長さ約100mm、幅25mm(球部を一回りする長さ)に切って、球部の下に10mm程度ガーゼをはみ出させて巻き付けます。この時球部に当たる部分のガーゼを水で濡らし、しわがよらないように巻き付けます。



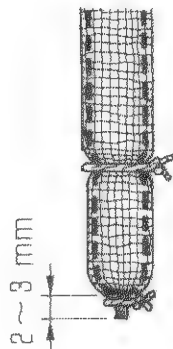
④ 水銀球部の上部にあるくぼみ部分を木綿糸で固く結びます。

⑤ 球部にガーゼが密着するように球部の下部を木綿糸で固く結びます。

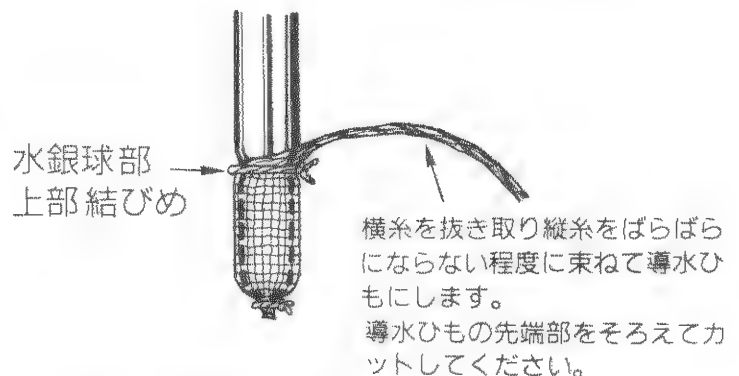


⑥ 球部の下2～3mm程度の所でガーゼを切り落とします。

⑦ 水銀球部の上部にあるくぼみ部分の結びめから上のガーゼの横糸を抜き縦糸だけにし、ばらばらにならない程度に束ねて導水ひもにします。導水ひもの先端部を揃えてカットしてください。



ガーゼを切り落とします。



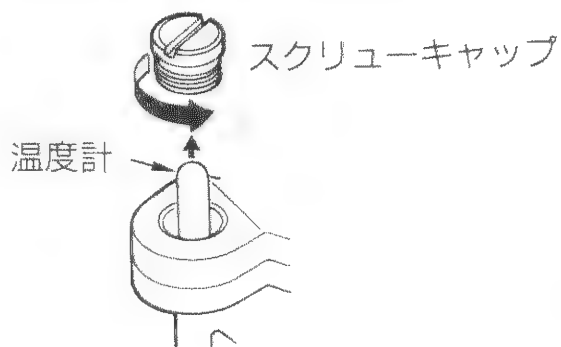
⑧ 前記⑤ページの「■湿球布の交換」の④⑤の要領で通風管(下部)、フック、を元に戻し、導水ひもを給水ポットに入れます。

(3) 温度計の交換

注意：金属キャップ付きの従来型温度計は使用出来ません。SK-RHG 専用オプション温度計をご使用ください。

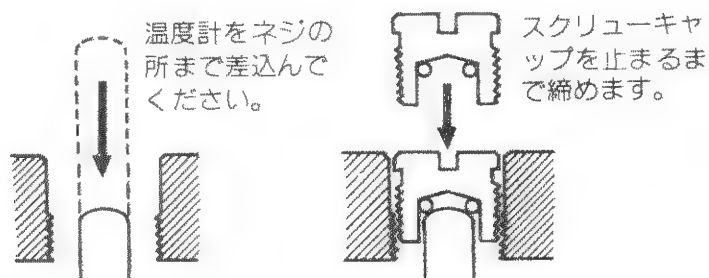
① 取外し方

硬貨などでスクリューキャップを時計回りの逆方向に回して外し、温度計を上押し上げ、抜き取ってください。



② 取付け方

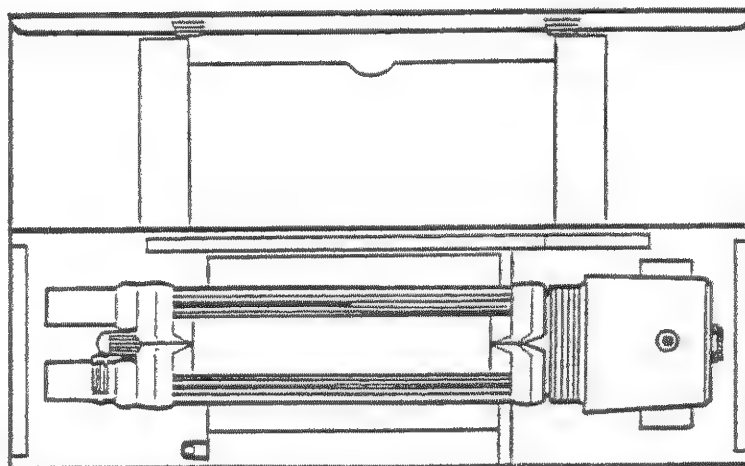
温度計をネジの所まで差し込み、スクリューキャップを止まるまで締めてください。



5：本体セット

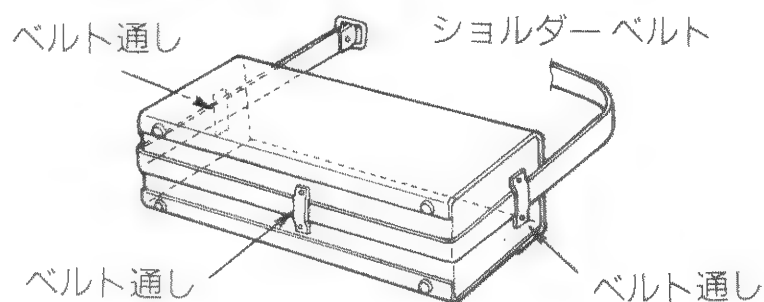
(1) 収納方法

・長期間ご使用にならない場合、本体を右図の様に格納箱にしまってお保管してください。この時、電池、湿球布（ガーゼ）給水ボトルは取りはずしておいてください。

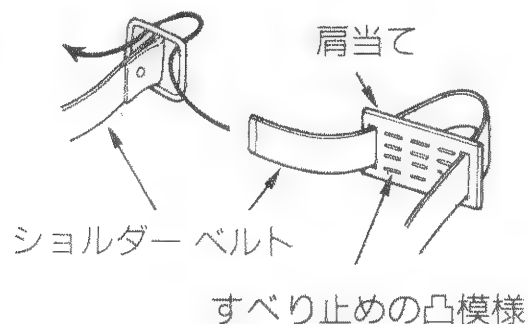


(2) ショルダーベルトの取付方法

① キャリングケースのベルト通しにショルダーベルトを通します。ケース底のベルト通しも必ず通してください。

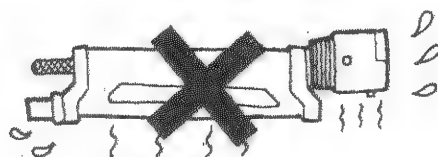


② 肩当てはすべり止めの凸模様のある方が肩に当たるよう取付けてください。



6：注意事項

- 主要部がガラス製温度計のため、移動中に投げたり落とさない様にご注意ください。
- 通風乾湿計用湿度表はスプリングの公式によって計算されたものです。通風乾湿計用以外の表を使うことはできません。
- 湿球布は汚れてきたら早めに取り替えてください。(正確に湿度を計るためには特に重要なことです。)
- 温度計の最高目盛り以上の温度下での保管や使用は避けてください。温度が上昇しすぎると温度計が破損する恐れがあります。
- 温度計の水銀球部を水平面より上にしないでください。水銀の切れが起る場合があります。



● モーターの寿命

小型のブラシ式を採用していますので、測定時間外は必ずパワースイッチをOFFの状態にしてご使用ください。不必要な連続使用はブラシの摩耗が早くなり、寿命が短くなります。

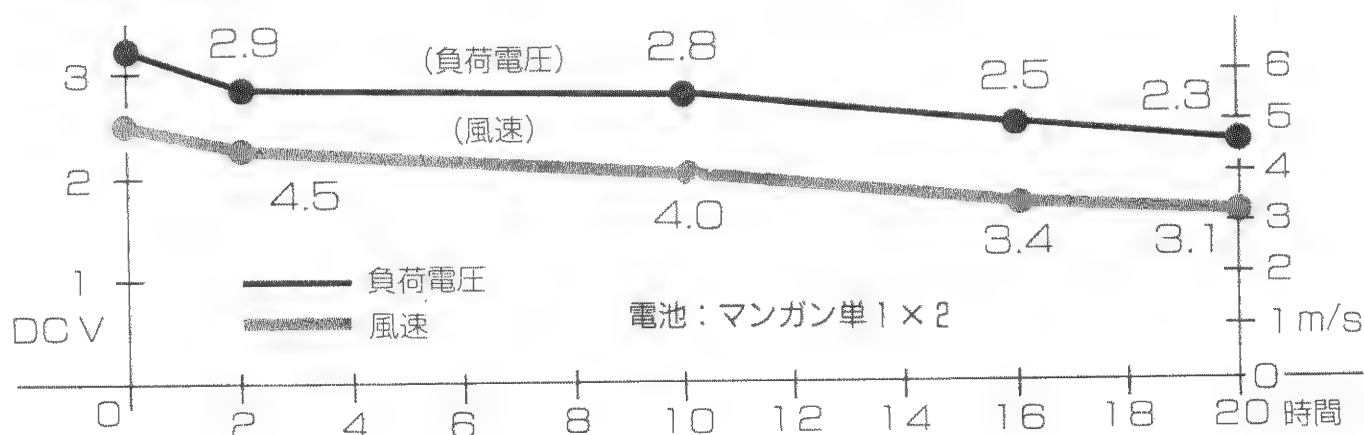
7：仕様

品 名	アスマン通風乾湿球湿度計		
型 式	SK-RHG		
商品コード	NO.7450		
使用温度計	0～+50℃(1目盛0.2℃、補助目盛付)水銀二重管2本使用(器差表付)		
温度計精度	±0.2℃		
測定範囲	0～+50℃		
電 源	2電源方式：単1乾電池(UM-1)×2 (DC3V) ACアダプター (AC100V/DC3V)		
外形寸法	(W) 80×(D) 110×(H) 450mm		
重 量	740g(乾電池除く)		
標準付属品	単1乾電池(UM-1) 2個 ACアダプター 1個 キャリングケース(スタンド収納可) 1個	湿球布 20本 ダストカバー 1枚	給水ボトル 1個 湿度計算尺 1個 取扱説明書 1冊

8：電池の連続使用時の電圧・風速の変化

* 正常な湿度値（％）を得るためには、風速が3.0～5.0m/s、負荷電圧が2.2V以上の条件が必要です。

* この製品は連続20時間の測定が可能です。
又1日4～5回15分間隔で断続使用された時は約2ヶ月間ご使用になれます。



9：SK-RHG 用消耗品及びオプション

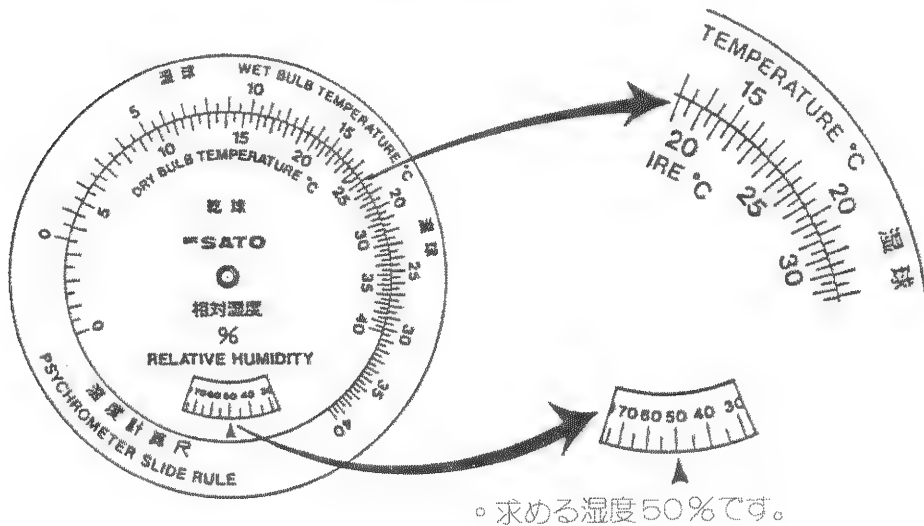
品 名			商品コード
専用スタンド			NO.7450-30
アスマン用三脚			NO.7450-40
SK-RHG 用温度計 0～+50℃ (0.2℃)	(器差表付)	(注)	NO.7450-50
SK-RHG 用温度計 -30～+50℃ (0.2℃)	(器差表付)	(注)	NO.7450-60
SK-RHG 用温度計 0～+40℃ (0.1℃)	(器差表付)	(注)	NO.7450-65
SK-RHG 専用湿球布	60本入り		NO.7450-70
AC アダプター AC100V / DC 3V			NO.7450-75

- (注) 1. 従来型の金属キャップ付き温度計の使用は器体や温度計破損の原因になります。
必ず SK-RHG 用温度計をご使用ください。
2. 対の温度計との度間を合わせるため、2本セット購入をお勧めします。

10：湿度の求め方

(1) 計算尺での方法

湿球の温度 (t') 18°C
 乾球の温度 (t) 25°C



(2) 換算表での方法

- 湿球と乾球の各温度が次の数値を示した場合を例にして求めてみます。

湿球の温度 (t') 27°C

乾球の温度 (t) 29°C

湿球と乾球の温度差 (t°) は $t - t' = t^{\circ}$ となります。

$$\begin{array}{ccc} \downarrow & \downarrow & \downarrow \\ 29 - 27 = 2(^{\circ}\text{C}) \end{array}$$

次に通風乾湿計用湿度表 により

温度差 (t°) 2.0°C と湿球の温度 (t') 27°C の交点求める湿度86%です。

		乾球の温度 (t) と湿球の温度 (t') の差 (°C)																			
t'	t°	0.0	0.2	0.4	0.6	0.8	1.0	1.2	1.4	1.6	1.8	2.0	2.2	2.4	2.6	2.8	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0
50		100	99																		
49		100	99	98	97	96	95	94													
48		100	99	98	97	96	95	93	92	91	90	89	88								
47		100	99	98	97	96	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84				
46		100	99	98	97	96	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	82	80		
45		100	99	98	97	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	82	79	77	75
29		100	99	97	96	94	93	91	90	89	87	86	85	84	82	81	80	77	74	72	69
28		100	98	97	96	94	93	91	90	89	87	86	85	83	82	81	80	77	74	71	68
27		100	98	97	95	94	93	91	90	88	87	86	84	83	82	81	79	76	73	71	68
26		100	98	97	95	94	92	91	90	88	87	85	84	83	81	80	79	76	73	70	67
25		100	98	97	95	94	92	91	89	88	86	85	84	82	81	80	78	75	72	69	67

11. ■ 湿度表

單位% (g/g)

t	乾球の温度 (t) と湿球の温度 (t') の差 (t - t')										附録の温度 (t)									
	0.0	0.2	0.4	0.6	0.8	1.0	1.2	1.4	1.6	1.8	2.0	2.2	2.4	2.6	2.8	3.0	3.2	3.4	3.6	3.8
50	100	99	98	97	96	95	94													
49	100	99	98	97	96	95	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	82	80		
48	100	99	98	97	96	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	82	80		
47	100	99	98	97	96	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	82	80		
46	100	99	98	97	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	82	80		
45	100	99	98	97	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	82	80		
44	100	99	98	97	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	82	80		
43	100	99	98	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	82	80		
42	100	99	98	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	82	80		
41	100	99	98	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	82	80		
40	100	99	98	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	82	80		
39	100	99	97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	82	80		
38	100	99	97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	82	80		
37	100	99	97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	82	80		
36	100	99	97	96	95	94	92	91	90	89	88	87	86	85	84	82	80			
35	100	99	97	96	95	94	92	91	90	89	88	87	86	85	84	82	80			
34	100	99	97	96	95	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	82	80			
33	100	99	97	96	95	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	82	80			
32	100	99	97	96	95	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	82	80			
31	100	99	97	96	94	93	92	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80		
30	100	99	97	96	94	93	92	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80		
29	100	99	97	96	94	93	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80		
28	100	98	97	96	94	93	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80		
27	100	98	97	95	94	93	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80		
26	100	98	97	95	94	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80		
25	100	98	97	95	94	92	91	89	88	86	85	84	82	81	80	78	75	72	69	67
24	100	98	97	95	93	92	91	89	88	86	85	83	82	81	79	78	75	72	69	66
23	100	98	97	95	93	92	90	89	87	86	84	83	82	81	79	78	75	72	69	66
22	100	98	97	95	93	92	90	89	87	86	84	83	81	80	78	77	74	71	68	65
21	100	98	97	95	93	92	90	89	87	85	84	82	81	79	77	73	70	67	65	62
20	100	98	96	95	93	92	90	88	87	85	83	82	81	79	76	73	69	66	63	60
19	100	98	96	95	93	91	89	88	86	85	83	81	80	78	77	75	72	69	65	62
18	100	98	96	94	93	91	89	87	86	84	83	81	79	78	76	74	71	68	65	62
17	100	98	96	94	92	91	89	87	85	84	82	80	79	77	75	73	71	68	64	61
16	100	98	96	94	92	90	89	87	85	83	82	80	78	77	75	74	70	66	63	60
15	100	98	96	94	92	90	88	86	85	83	81	79	78	76	74	73	69	65	62	59
14	100	98	96	94	92	90	88	86	84	82	81	79	77	75	74	72	68	64	61	57
13	100	98	96	94	92	90	88	86	84	82	80	78	76	75	73	71	67	63	60	56
12	100	98	96	93	91	89	87	85	83	81	79	77	76	74	72	70	66	62	59	55
11	100	98	95	93	91	89	87	85	83	81	79	77	75	73	71	69	65	61	57	54
10	100	98	95	93	91	88	86	84	82	80	78	76	74	72	70	69	64	60	56	52
9	100	98	95	93	90	88	86	84	81	79	77	75	73	71	69	67	63	59	55	51
8	100	97	95	92	90	88	85	83	81	79	76	74	72	70	68	66	62	58	54	49
7	100	97	95	92	90	87	85	82	80	78	75	73	71	69	67	65	60	56	52	48
6	100	97	94	92	89	86	84	82	79	77	75	72	70	68	66	64	59	54	46	42
5	100	97	94	91	89	86	84	81	78	76	74	71	69	67	65	63	57	53	48	44
4	100	97	94	91	88	86	83	80	78	75	73	70	68	66	63	61	56	51	46	42
3	100	97	94	91	88	85	82	79	77	74	71	69	67	64	62	60	54	49	44	39
2	100	97	94	91	87	84	81	78	75	73	70	68	65	63	60	58	52	47	42	37
1	100	97	93	90	87	84	81	78	75	72	69	66	64	61	58	56	50	45	39	34
0	100	96	93	89	86	83	80	76	73	70	68	65	62	59	57	54	48	42	37	32
-1	100	96	93	89	85	82	79	75	72	69	66	63	61	58	55	52	46	40	34	29
-2	100	96	92	88	85	81	78	74	71	68	64	61	58	55	52	50	43	37	31	25
-3	100	96	91	87	83	80	76	73	69	66	63	59	56	53	50	47	40	34	28	22
-4	100	96	91	87	83	79	75	71	68	64	61	57	54	51	48	45	37	30	24	18
-5	100	95	91	86	82	78	74	70	66	62	59	55	52	48	45	42	34	27	20	14
-6	100	95	90	86	81	77	72	68	64	60	56	53	49	45	42	39	31	23	16	10
-7	100	95	90	85	80	75	71	66	62	58	54	50	46	42	39	35	27	19	12	
-8	100	95	89	84	79	74	69	65	60	56	51	47	43	39	35	32	23	15		
-9	100	94	88	82	76	72	67	62	58	53	48	44	40	36	32	28	18	10		
-10	100	94	88	82	76	71	65	60	55	50	45	41	36	32	28	23	14			

湿度表 2 (湿球が氷結した時・空気の氣圧が1氣圧の時) 単位%(RH)

t°	乾球の温度 (t) と湿球の温度 (t') の差 (°C)									
	0.0	0.2	0.4	0.6	0.8	1.0	1.2	1.4	1.6	1.8
-30	100	97	93	90	87	84	81	78	75	73
-29	99	96	92	89	86	82	79	76	73	70
-28	98	94	91	87	84	81	77	74	71	68
-27	97	93	90	86	82	79	75	72	69	66
-26	96	92	88	84	81	77	74	70	67	64
-25	95	91	87	83	79	75	72	68	65	61
-24	94	90	86	81	77	73	70	66	62	59
-23	93	89	84	80	76	71	67	63	60	56
-22	92	88	83	78	74	69	65	61	57	53
-21	91	86	81	76	72	67	63	59	54	50
-20	90	85	80	75	70	65	60	55	51	46
-19	89	84	78	73	68	62	57	52	48	43
-18	88	82	77	71	65	60	54	49	44	39
-17	87	81	75	69	63	57	51	46	41	35
-16	86	80	73	67	60	54	48	42	37	31
-15	85	79	72	65	58	51	45	38	32	27
-14	84	78	70	62	55	48	41	34	28	22
-13	83	76	68	60	52	44	37	30	23	16
-12	82	75	66	57	49	41	33	25	18	11
-11	81	73	64	54	45	37	28	20	12	
-10	80	72	61	51	42	32	23	14		
-9	79	70	59	48	38	28	18			
-8	78	69	56	45	33	22	12			
-7	77	67	53	41	29	17				
-6	76	65	50	37	24	11				
-5	75	63	47	33	18					
-4	74	60	44	28	12					
-3	73	58	40	23						
-2	72	56	36	17						
-1	71	53	32	11						
0	70	50	27							

臺灣教育發展史

單位%(pH)

12：保証規定・品質保証書

- ① 説明書の注意に従った正常は使用状態で故障した場合、お買上げ後1年間無償で修理いたします。
- ② 修理の必要が生じた場合は製品に本証を添えて、お買上げ店または弊社営業所にご持参またはご郵送ください。
- ③ 保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
 - イ. 誤用、乱用および取扱不注意による故障
 - ロ. 火災・地震・水害等の災害による故障
 - ハ. 不当な修理や改造に起因する故障
 - ニ. 使用中に生じたキズなどの外観上の変化
 - ホ. 消耗品および付属品の交換
 - ヘ. 本証の提示がない場合および必要事項（お買上げ日、販売店名等）の記入がない場合
- ④ 本証は日本国内でのみ有効です。また本証は再発行はいたしません。大切に保存してください。

品質保証書	
お願い 本保証書はアフターサービスの際必要となります。 お手数でも※印箇所にご記入の上本器の最終ご使用者のお手許に保管をしてください。	
品 名 アスマン式通風乾湿計 型式 SK-RHG	
※ ご芳名	
※ ご住所	※ TEL ()
●以下につきましては、必ず販売店にて、記入捺印していただってください。	
お買上げ店名 ㊞	
ご住所	
TEL ()	
お買上げ年月日 年 月 日	
SK 株式会社 佐藤計量器製作所	
〒101-0037 東京都千代田区神田西福田町3番地	
☎ 03-3254-8111(代) FAX 03-3254-8119	

株式会社 佐藤計量器製作所

- 本 社 東京都千代田区神田西福田町3 ㊦101-0037
☎ 03-3254-8111 (代) FAX 03-3254-8119
- 大 阪 支 社 大阪市中央区内平野町2-1-10 ㊦540-0037
☎ 06-6944-0921 (代) FAX 06-6944-0926
- 札幌営業所 札幌市北区北20条西4-19 ㊦001-0020
☎ 011-758-0051 (代) FAX 011-758-0065
- 仙台営業所 宮城県柴田郡村田町西ヶ丘25-1 ㊦989-1304
☎ 0224-83-4781 (代) FAX 0224-83-4770
- 名古屋営業所 名古屋市中区大須1-3-16 ㊦460-0011
☎ 052-204-1234 (代) FAX 052-204-1123
- 北陸営業所 福井市湊2-1506 ㊦918-8026
☎ 0776-35-7778 (代) FAX 0776-36-0170
- 福岡営業所 福岡市博多区博多駅前4-18-26 ㊦812-0011
☎ 092-451-1685 (代) FAX 092-451-1688